



KASAMATSU TOWN Earthquake Hazard Map

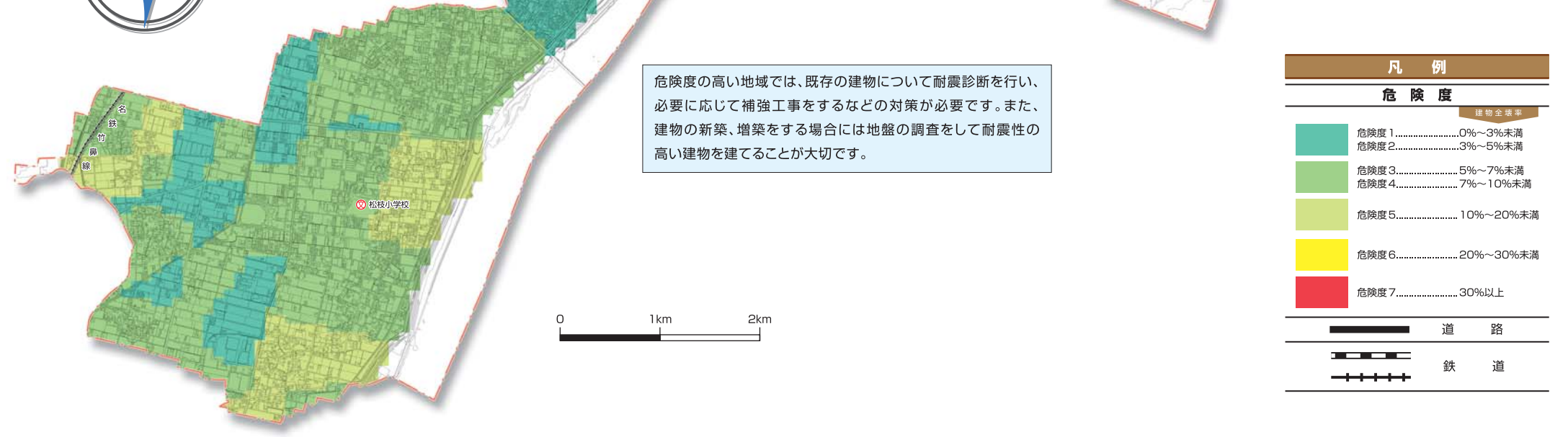
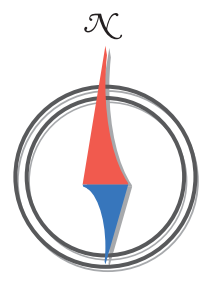
地域危険度マップ

1/15,000

笠松町では、今後町内で発生する可能性がある地震について、住民のみなさんに関心と知識を持っていただき、日頃からの備えをしていただくことを目的に「地震ハザードマップ」を作成しました。

自宅周辺の地震時の危険度を確し、日頃から地震に備えて家屋の耐震診断や補強工事など自己防衛に努めるとともに、地震が発生した時の対応などを家族や周辺のみなさんと相談しておきましょう。

ここで表示した危険度は、想定された震度の地震が起きたときに、地域単位(小字)内にある全建物の内、全壊する建物の割合を示したもので、一戸ごとの建物の危険度ではありません。



危険度の高い地域では、既存の建物について耐震診断を行い、必要に応じて補強工事をするなどの対策が必要です。また、建物の新築、増築をする場合には地盤の調査をして耐震性の高い建物を建てるのが大切です。

凡例	
危険度	
危険度1	建物全壊率 0%~3%未満
危険度2	3%~5%未満
危険度3	5%~7%未満
危険度4	7%~10%未満
危険度5	10%~20%未満
危険度6	20%~30%未満
危険度7	30%以上

地域危険度マップとは

「地域危険度マップ」とは、「揺れやすさマップ」に示されている想定地震の揺れの震度となった場合に、建物が被害が生じる程度を「危険度」として表したものです。計算は、約50m四方の「メッシュ」単位で分割した区域内の建物の分布を参考に、建物被害の分布を相対的に示しています。

危険度の数値が大きくなるほど被害は大きくなります。ご自宅の周辺や普段からよく行くところ、よく通るところなどについて、安全性を確認してみてください。なお、このマップでは可住地の建物が存在しないメッシュについても近辺の状況を参考に着色しました。

耐震について

住宅の耐震性について

一般に、地震が発生した場合の建築物の全壊率は古い建築物ほど高くなりますが、木造住宅ではその傾向が特に目立ちます。古い耐震基準の時期(昭和56年以前)に建てられた家や、壁が少ない家などは耐震性が低くなっていますので、心当たりのある方は専門

家による耐震診断を受けられることをお勧めしています。地震対策の基本として「わが家の耐震性向上」は欠かせません。耐震性の向上についてさまざまな支援策がありますのでぜひご利用ください。

耐震診断・耐震改修工事支援について

笠松町では、「木造住宅耐震診断補助事業」および「木造住宅補強工事補助事業」による補助制度の適用を受けることができます。



- 併用住宅の場合は、延べ面積の過半が住宅の用に供されているもの
- 枠組壁工法・丸太組構法または大臣等特別な認定を受けた工法でないもの
- 賃貸住宅(共同・長屋住宅)は、診断について居住者の承諾を得ているもの

耐震改修工事の費用の補助(木造住宅補強工事補助事業)
耐震診断の費用の補助制度による耐震診断を受けた建物のうち「倒壊のおそれがある」とされた建物について、耐震補強工事を行う場合にその費用の一部に対して補助を受けることができます。

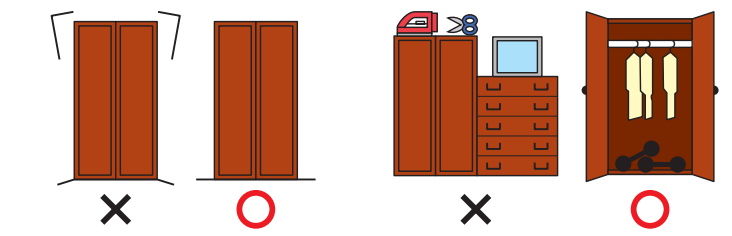
耐震診断等の建設課 ☎501-6181 岐阜県羽島郡笠松町司町1番地
お問い合わせ先 TEL: 058-388-1117 FAX: 058-387-5816

家の中の安全性の向上を図る

阪神・淡路大震災におけるケガをした人の多くは、家具、本棚、OA機器等の家財の転倒、落下が原因であったということが分かっています。地震

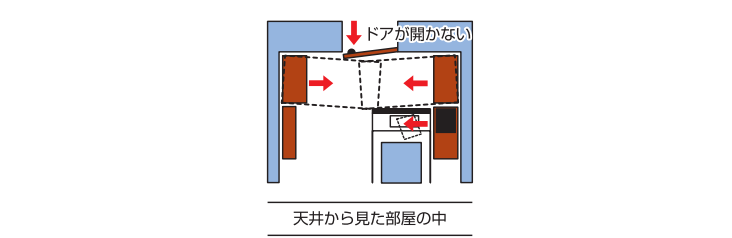
による強い揺れから身を守るためには家財の固定も重要な備えとなります。

家具の正しい置き方を確認しましょう



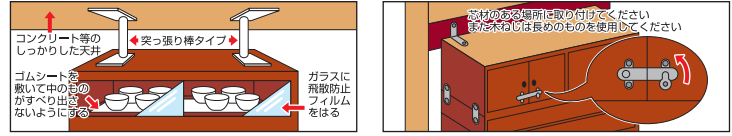
じゅうたんや壁には背の高い家具は置かないようにしましょう。これは、じゅうたんや畳など柔らかい床の方が、フローリングなど硬い床よりも転倒しやすいからです。

下に重い物を置き、うえに軽い物を収納しましょう。また、家具の上には、ガラスやアイロンのような危険な物やテレビなどの重い物は置かないことが肝要です。

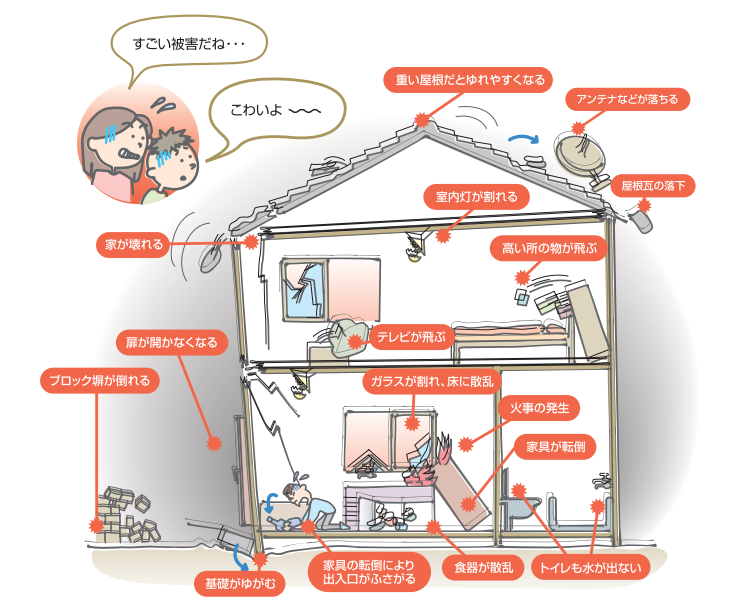


寝室や出入口付近には、家具を置くのは避けましょう。

家具の固定を行いましょ



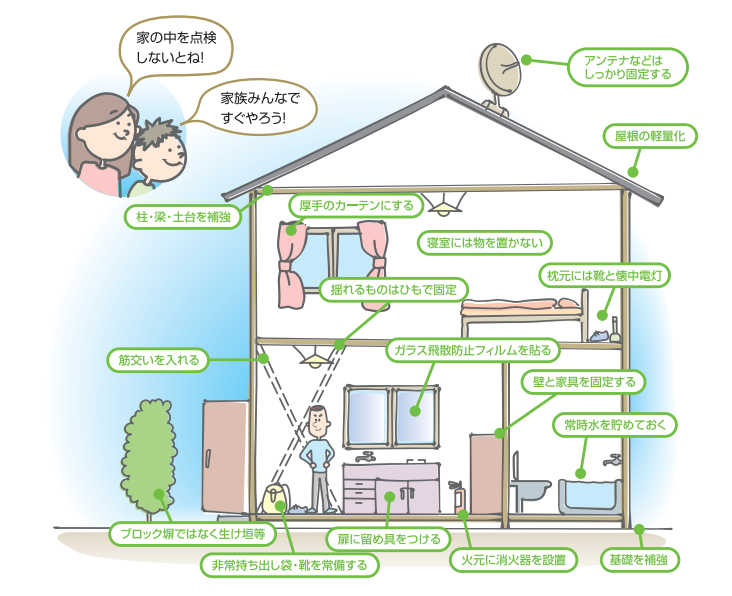
強い揺れ(震度6弱以上)に見舞われると、こんな状況が想定されます。



倒壊の段階

全壊	半壊	一部損壊	無被害
住宅の全体、もしくは一部の階が全て倒壊している	外壁や柱の傾斜が1/20以上である。	居住のための基本的な機能の一部を失った状態を指します。	壁面の亀裂が生じている。外壁に若干の剥離がある等の状態を指します。
居住のための基本的な機能を失った状態を指します。			被害が生じていない状態を指します。

被害を少なくするためのヒント、私たちにもできること。



まちの中の安全な場所・危険な場所

安全な場所	危険な場所
広場や空き地	学校のグラウンド、公園、畑など
ブロック塀の近く	くづつきがある、傾いている、ひび割れがある、高いなどのブロック塀は倒れてくる危険性がある
自動販売機の近く	固定されていないものもあるので倒れてくる危険性がある
ビルの近く	看板や窓ガラスなどが落下してくる危険性がある
電信柱の近く	大型の電信柱の倒壊に巻き込まれる危険性がある
瓦屋根の近く	揺れて瓦が落ちてくる危険性がある